



●2002年9月30日東海テレビ放送

園児の死亡事故知り開発…車内への置き去り防止用『SOSボタン』
大きな音“だけじゃない”子供を救う機能 | 東海テレビNEWS

☆ニュースはこちらから

https://www.tokai-tv.com/tokainews/article_20220930_22133



●2002年9月30日放送NHK放送

通園バス取り残され事件を受けて園児が置き去り防止装置を体験
| NHK 東海のニュース

☆ニュースはこちらから

<https://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20220930/3000025121.html>



●2002年10月1日掲載読売新聞

(第3種郵便物認可)

2022年(令和4年)10月1日(土曜日)

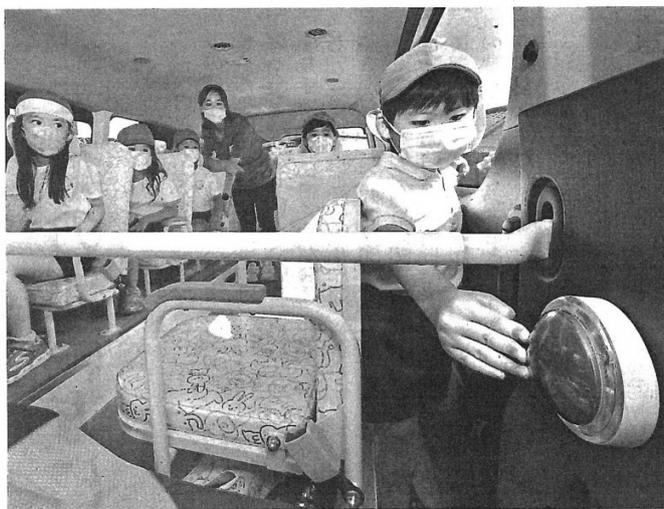
読売

愛知

新聞

1頁

園児 バス置き去り防止



送迎バス車内の「SOSボタン」を押す練習をする園児たち(30日午前、愛知県清須市の「オークトゥリー」で)＝中根新太郎撮影

SOSボタン 警告音、窓開き換気

静岡県牧之原市で認定こども園の送迎バスに3歳の女児が取り残されて死亡した事件を受け、ものづくりが盛んな愛知県のメーカー各社が置き去りを防ぐ装置の開発に相次いで乗り出している。政府は29日、全国の幼稚園や保育園などの通園バスへの防止装置設置を義務づける方針を打ち出しており、企業側も「悲惨な事件を防ぐために役立ちたい」と力を込める。(西沢由華、上田博史)

愛知県清須市のインターナショナルスクール「オークトゥリー」で30日、園の送迎バスに設置された新たな安全装置の試験運用が行われた。園児がバス前部に取付けた「SOSボタン」を押すとクラクションの大きな音が鳴り響き、ハザー

愛知で開発

ドランプが点灯。前部座席の両窓がほぼ開き換気もできるようになった。鳴動などはエンジンのスイッチが押されるまで続いた。参加した宗千尋ちゃん(6)は「ボタンを押す時にドキドキしたが、練習したからバスで1人になって

わなないことが一番だが、安心してバスに乗ってほしい」と話す。

政府は、29日の関係府省会議で安全装置の設置を義務づける方針を決めた。義務化の対象とする装置の仕様については今後検討するとしているが、エンジンの停止後に警告音が鳴り、車両最後部のスイッチを押すまで鳴動が続く仕組みが一般的という。

同県半田市にある防犯機器メーカー「加藤電機」が10月上旬に発売を予定している装置もこのタイプで、警告音を止めるリモコンにドアの解錠ができるボタンもつけ、子供が脱出しやすくなっている。

超音波センサーなどを設置することで、停車した車内で子供が動くなごした時にメールで通知したり、警告音で異常を知らせたりすることもできる。同社の担当者は「見回りを習慣づけて、見落としした時にも対応できる二重の防止機能をつけた」と強調した。

も助けを呼べる」と話した。この装置は自動車部品製造「トモキス・ペシャルパーツ」(名古屋)が開発を進めているもので、近く4万円程度で販売を始める予定だ。仲里知樹社長(55)は「ボタンを使